



410-23
(数学)

2023年1月

『直感とちがう数学』

はいち 監修
葉一 監修

タカタ先生 原案

カシワイ 絵

(Gakken)

「このくらいかな？」と、直感で出した答えがページをめくると裏切られます。何となく考えた答えがなぜ実際と違うのか、丁寧に解説されているので、数学に苦手意識のある人も気軽に読むことができます。12カ月の季節にちなんだ章で構成されており、4月は1クラスの人数に関する問い、7月は当たりつきアイスに関する問いなど、身近な事柄にも数学が隠れていることが分かります。

やさしい色合いのイラストを楽しみながら、実際に計算して数学に親しんでみませんか。

令和6年（2024年）春・夏号



おもしろい本
みつけた！

《中学生・高校生》

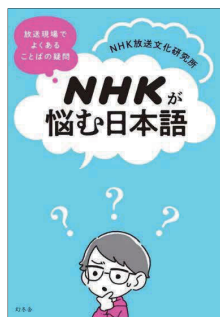


1年の間に図書館に入った本を中心に、
幅広くおもしろい本を紹介します。

★ホームページにもっています。
気になる本をみつけたら、



茨木市立図書館
おすすめ本のページ



810-23
(日本語)

2023年4月

『NHKが悩む日本語 放送現場でよくあることばの疑問』

NHK放送文化研究所 作

(幻冬舎)

NHKには文獻用語班という部署があります。伝えたいことを多くの人に違和感なく受け取ってもらうために、ことばの選び方や使い方を検討し、ことばの現状や変化を研究しているところです。例えば「回答」と「解答」、どちらが正しいのか疑問に感じる時はありませんか？この本では、身近なことばだけでなく、使い方を迷うようなものが多く紹介されています。

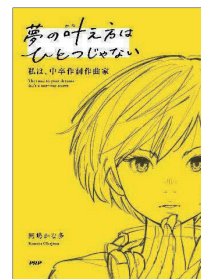
同じことばでも人によって受け取り方が違います。プロでも悩む過程を知ると、普段使うことばを改めて考えてみたくなります。

★「読みたいな」と思った本の予約・問い合わせは、下の図書館までお願いします。

中央図書館	☎072-627-4129	畑田町1番51号
おにクル ぶっくばーく	☎072-622-2476	駅前三丁目9番45号 おにクル内
水尾図書館	☎072-637-4416	水尾三丁目3番18号
庄栄図書館	☎072-620-1171	庄二丁目26番12号
穂積図書館	☎072-620-1056	松ヶ本町8番30号 イオンモール茨木内

編集・発行：茨木市立図書館

発行日：令和6年(2024年)3月



767-23
(声楽)

2023年2月

『夢の叶え方はひとつじゃない 私は、中卒作詞作曲家』

岡嶋 かな多 作

(PHP研究所)

NiziU、BTSなど、皆さんも知っている様々な歌手へ500曲以上を提供してきた岡嶋かな多さんは、中学校卒業後に音楽の道へ進みました。10代の頃は「自分なんか消えたほうがいい」と思っていた作者から、『みんなにとっての「当たり前」な生き方が自分にとって正解とは限らない』などの、たくさんの励ましの言葉が綴られています。出版にあたって行われた中高生との座談会で出た質問も載っており、夢を叶える、見つけるきっかけになる1冊です。



セーノリ
(外国の小説)
2023年2月

『起業家フェリックスは12歳』

アンドリュー・ノリス 作 (あすなろ書房)

千葉 茂樹 訳

12歳にしてビジネスに意欲的なフェリックスは、お母さんの誕生日に友達のモーがつくったカードを贈ったことをきっかけに、新たなビジネスを始めます。友達や家族も巻き込んで大きくなっていくビジネスは、本格的な契約書や税金などの要素も絡まり、思わぬ方向へと転がっていきます。
協力し合える仲間や知識があれば、誰でも起業できるというワクワクがひろがります。



ニームラ
(日本の小説)
2023年4月

『きみの話を聞かせてくれよ』

村上 雅郁 作 (フレーベル館)

カシワイ 絵

親友とけんかして一人になった立花の「シロクマを描いて」や、お菓子作りが趣味で、女子達に可愛がられている虎之助の「タルトタタンの作り方」など、新船中学校を舞台に7人の青春を描いた短編集です。各章の主人公たちと関わりのある生徒・黒野良輔との交わりから、それぞれの悩みや思い、抱えている秘密などが見えてきます。
何度も出てくる「聞かせてくれよ」というフレーズが印象的で、相手の話に耳を傾ける大切さを感じられる物語です。



ニーイワ
(日本の小説)
2022年7月

『こども六法ノベル その事件、こども弁護士におまかせ！』

山崎 聡一郎 原案 (KADOKAWA)

岩佐 まもる 作
飯田 亮真 監修

こども弁護士として活躍する高校2年生の久家智紘のもとには、様々な相談や弁護の依頼がやってきます。万引きやいじめ、ブラックバイト、デートDVといった問題を、智紘は法律の知識を活かして冷静に解決していきます。
この小説に登場する法律は、2022年5月時点の実際の法律です。トラブルに巻き込まれ、「こんなときどうしたら……」と迷った時のヒントが得られるかもしれません。弁護士という仕事のおもしろさやリアリティを感じられるところも魅力です。



FーカコーPB
(日本の小説)
2023年6月

『クロワッサン学習塾』

伽古屋 圭市 作 (文藝春秋)

黒羽三吾は、元小学校教師のパン屋さんです。万引き騒動をきっかけに一人の少女と出会います。話をする中で少女が宿題に困っていることを知り、かつての教え子と少女を重ねた三吾は、力になりたいとパン屋で塾を開くことにします。「万引きをしてほしくない。勉強を嫌いになってほしくない。」という三吾の思いは、少女の心に響くのでしょうか。
なぜ勉強しないといけいないのか。本当に将来の役に立つのか。誰もが一度は考えるその疑問に、優しく真摯に向きあいます。



ニーテン
(日本の小説)
2022年7月

『おにのまつり』

天川 栄人 作 (講談社)

中学3年生のあさひは先生からコーチ役を頼まれ、問題児と言われる同級生、桃香・絢子・楽々・タケルの4人と、鬼の祭り「うらじゃ」に参加することになります。踊りの練習を重ね、温羅伝説について知っていくとともに、5人は少しずつお互いを理解し、打ち解けていきます。
この物語は章ごとに主人公が変わります。それぞれの目線で話が進んでいく中で、自身の抱えるトラウマを乗り越えていく様子が描かれています。



K400
(自然科学)
2022年7月

『マンガでたのしむ！科学の法則』

うえたに夫婦 作 (技術評論社)

科学が大好きなちょっと変わったおじさん、加賀楠樹さんは、科学おもちゃ店「ニューニュートントン」の店主です。「店の売上が下がりが味」、「上手く泳げるようになりたい」といった街の困りごとや悩みを科学の法則で解決していきます。
加賀さんと街の人たちのやりとりが面白く、科学が苦手な人でも、楽しく読めることまちがいなです。